



関係する地方公共団体等の意見

神戸市長の意見

国道175号は、明石市臨海部から企業集積が進む神戸市北西部までを南北に通過し、さらに三木市や小野市など兵庫県内陸部をつなぐ重要な幹線道路です。

中でも、神出バイパスは神戸市西部地域の経済活動や、災害時の緊急輸送道路、安全な交通の確保など、市民生活を支える上で必要な事業です。

ネットワーク機能を十分に発揮するために、未整備区間である0.6kmについて事業を完了させ、全線を繋ぐ必要があると考えます。

また、事業効果を更に高めるため、暫定2車線で供用されている区間4.2kmの4車線化も、あわせて必要であると考えます。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道175号神出バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

神出バイパス区間が通過する神戸市西区の人口や自動車保有台数の伸びは増加傾向。

事業の進捗状況、残事業の内容等

現在までに0.9km(完成4車線)開通済み、4.2km(暫定2車線)開通済み、用地進捗率：約89%、事業進捗率：約74%

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

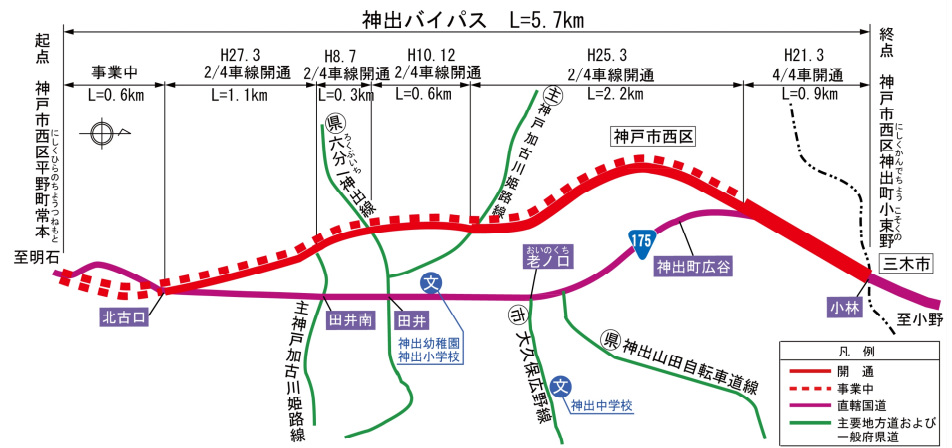
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【位置図】



【概要図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。